

猫クレート選びのポイント

- クレートはケージ、ゲージとも呼ばれています。
- 固定用と移動用がありますが、飼い主自身で持ち運び出来るものを選びましょう。
- ペットが一番安心できる形を選ぶことが大切です。

表紙のペット用移動ケージはプラスチック製で硬く、形が変形したり、折りたんだりできません。外の景色が正面の出入り口の扉か、サイドの空気穴から少し見ることができるぐらいです。

と、ということは猫の姿も外からは特定の場所からしか見えないということです。これは動物が本能的に安心できることで、大きさは一時的な移動に使うケージなら体が無理なく入れればよしとされます。

ケージで生活をさせる場合はペットが長々と横になれるぐらいのスペースが必要です。大きさ、性格にあったものを用途別に準備することが大切です。

このマニュアルは当団体が独自に作成したものです。
記載されている内容は2008年6月現在の情報です。

A³

2010年9月印刷

発行 特定非営利活動法人エーキューブ

<http://www.a-cube-sendai.com/>

TEL 080-5224-6758 (平日9:00~17:00)

わたしとペットの自主防災



猫

クレート・トレーニング

日頃からいざというときにクレート(ケージ)に入れて運びだせるように『しつけ』をしておきます。避難場所でケージに入っていられれば安心ですね。

NPO法人エーキューブ

STEP 1

ケージの中に猫の好きな敷物を入れてペットシーツを下に敷きましょう。気に入らない時は気に入るようにセッティングしてあげてください。

ワンポイント!

扉を開けて放っておきあとは待ちます。



STEP 2



ケージに興味を示し、匂いをかぎ様子を見ています。安全確認です。この時飼い主さんは後ろからお尻を『ぎゅ〜っ』と押しつけてケージにぽんと入れたい衝動に駆られますが、我慢してください。それをしますと一生トラウマになります。(経験者談)

ワンポイント!

優しい声での後押しは効果があります。

STEP 3

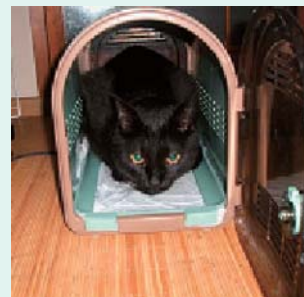


安全確認が終了し、やっとケージに入ってみる気になりました。ケージの位置が気に入らなくて飼い主さんに訴えたのでしょうか、向きが変わっていますね。何に困って何が心配なのかを観察してできるだけ良い環境にしてあげましょう。

ワンポイント!

過剰に話しかけたり、怒ったり、ケージを雑に扱って思わぬ音を立てたりすると中にはケージが怖くなってしまいうちもいます。

STEP 4



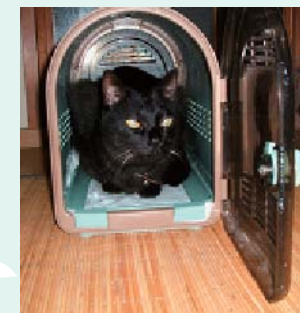
ついにケージに入りました。でも顔が少し緊張していて、座り方も警戒モードですね。まだ完全にこのケージを信頼しているわけではありません。ここでピシャリと扉を閉められて出られなくなるのでは?と一生懸命考えていることでしょう。もう少し我慢です。様子を見ましょう。

ワンポイント!

もちろん、誉め言葉やご褒美はあげてください。

STEP 5

座り方もくつろいだ格好になっています。目を細め少し横に向いていますね。緊張が取れてきたようです。ここで最高に誉めてあげて、優しく静かに扉を閉めましょう。扉を閉めたままご褒美があげられるようでしたら、あげてみてください。



ワンポイント!

最初は何か閉めて誉め、すぐ開けてその状態で(飛び出す前に)誉めてご褒美をあげてください。

最後に『気長にコツコツと!』

しばらくはご褒美をもらうためにケージに入るようにしつけるのもひとつの方法です。慌てず急がず、ゆっくり慣らしていきましょう。心配や不安、ケージトレーニングに失敗した方もいらっしゃるでしょう。それでも災害時に大変な苦痛を与えないために、もう一度最初から始めてみませんか? 成功したら一番先にどこに連れて行きますか?

まさかペットが大嫌いな場所に行こうなんて考えてませんよね?

出かける際には必ず猫にリードを着け、持ち手にリードの先をしっかり結んで万が一ケージから猫が飛び出しても押さえられるようにしましょう。